

## セッション変数に格納するデータについて

この文書では、フレームワークにて利用するセッションでどのようなデータを受渡するかをまとめています。

### 一覧

以下の一覧はセッション変数に格納するデータのキーです。  
(in alphabetical order)

- :user\_id  
ログイン済みの現在のユーザーのIDを格納する。
- :added\_documents  
関連文書編集の際に新しく追加された文書を格納する。
- :calendar\_return\_to  
カレンダー選択部品による操作で利用する。
- :deleted\_attachments  
添付ファイル編集の際に削除される予定の添付情報を格納する。
- :deleted\_documents  
関連文書編集の際に削除される予定の文書を格納する。
- :expires\_at  
セッションの期限を格納する。
- :fragment  
現在の画面のURLを復元するためのfragmentを格納する。
- :language  
画面生成の際に利用する言語の情報を格納する。
- :login\_time  
ログインした時刻を格納する。
- :menu\_history  
メニュー履歴を格納する。
- :picker  
選択部品による操作で利用する情報を格納する。
- :display\_before\_picker  
選択部品による操作前にフォームの情報を退避する。
- :set\_default\_before\_picker  
選択部品による操作前に既定の一覧にするかどうかの情報を退避する。
- :mail\_before\_picker  
選択部品による操作前にメールを送信するかどうかの情報を退避する。
- :details\_\*\_before\_picker  
選択部品による操作前に詳細項目のフォームの情報を退避する。
- :rails\_protection\_session\_id  
セッションIDを格納する。
- :remote\_ip  
リモートIPアドレスを格納する。
- :return\_to  
URLを格納する。
- :uploaded\_attachments  
添付ファイル編集の際に追加アップロードされた添付情報を格納する。
- :user\_agent  
User Agentを格納する。